

## 平成24年度研究科横断型教育プログラム(Bタイプ) 授業科目

開講方式	Bタイプ (特別開講型)	研究科名	文学研究科	横断区分	文理横断型	開講場所	文学研究科 第12演習室 (総合研究2号館 地階)
授業科目名	研究科横断型教育科目(Bタイプ) 「応用哲学入門」			講義担当者 所属・氏名	文学研究科 水谷雅彦、出口康夫※、伊勢田哲治、その他未定(リレー講義方式)(※代表者)		
配当学年	修士 博士後期 専門職	単位数	1単位	開講期	5月24、31日 6月7、14、28日 7月5、12、26日 (木)16時30分~18時	授業形態	リレー講義
〔授業の概要・目的〕							
現代日本が直面している様々な課題を提示し、その問題の所在を明確に見定めた上で、われわれの従来の思考法の枠を破りつつ、それらに対する解決策・対処策を模索する。それが応用哲学の思考スタイルである。この授業では、原則的に、一回につき一つの「課題」を設定し、専門を異にする大学院生が、それぞれの立場から自由に意見を交わしあうことで、知のブレイン・ストーミングを繰り広げることを目指す。そのことで個々の専門の枠にとらわれず、広い視野に立った議論を展開できる大学院生の養成を目指す。							
〔授業計画と内容〕							
採用する教科書(下記)から 8 つの章を選び、一回の授業につき、原則的に一つの章を取り上げて議論を行う。受講者には、あらかじめ当該の章を読んだ上で授業に出席することが求められる。扱われる章は、「無知の哲学」「臨床治験を哲学する」「疑似科学問題」を含む諸章である。							
〔履修要件〕							
特になし。							
〔成績評価の方法・基準〕							
発言・意見表明等の授業中のパフォーマンス(評価の3分の1)、出席回数(同、3分の1)、レポート成績(3分の1)。							
〔教科書〕							
戸田山・出口編(2011)『応用哲学を学ぶ人のために』(世界思想社)							
〔参考書等〕							
授業中に適宜指示する。							
〔その他(授業外学習の指示・オフィスアワー等)〕							
授業中に適宜指示する。							